



報 廣

和みのに



(社会福祉センター・庁舎の完成予想図 左が社会福祉センター、右が庁舎)

公共用地の造成に
ご協力を

昭和四十年正月の広報のみで、社団法人ターと告げるの位置が決り、社団法人ターの必要性、庁舎の必要性、そして位置決定までの概略をお知らせし、続いて昭和四十七年の二月号で造成開始と協力しての町創りをいいたしたが、それぞのPTA、幼稚園、保育園の園児から要望聞き説話を続けてまいりました。

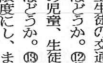
力経路は、谷戸線・役場のうらの方回。約一八〇メートル区間、幅員三・五メートルと、内原線（二宮小学校下の道沿）約六〇メ

住民からの要望

関係住民の要望が、おもなものは、①小学の發校、下校時安全対策はどうか。②内原線より一級国道へ出る横歩道を保護柵及び横断車が通行するのを防ぐ。③内原線内橋南側のの整理と公園。④内橋の舗装。⑤カーのスピードについてはどうか。⑥自然環境を、事故防止保全等に障害とならないか。⑦工事にともなう住民の被害が発生しない場合、最終的には開閉式から、伊沢組より負担するか。⑧交通事故が発生した場合、人身事故、物の事故について工事手帳に、直轄原則及び間接原因となるものについて具体的な措置の方法はないか。⑨内原線、谷戸線のずれも補償があるか。車輻制限の規定はよくあると思うが、その適用方法を考えてみる。⑩道路の幅員、構想強化等の対策はないか。⑪道路の埋設されている水道管や谷戸線が凹み地方面に通るようなことが数起れているため、その予防対策、被損事

故発生時の対応はどうか。⑫通園通学の子童生徒の交通安全用具の対策はどうか。⑬一般の通行者補給後の来賓、生の通行の安全対策はないか。⑭騒音の低減策を最小限とし、また住民被害を止めた場合の具体的方策として、⑮小中学校における教育中にささぐりの支援がないかな。万急の場合にはどうか。⑯ゆげによる排気ガス等により、保健衛生上の問題に対するどのような対策をとっているのか。⑰他住民からの苦情に対して出された場合、町のよろこべき施策ではないか。

その他数々の申入れがありましたが、基本的な申入れとしては、町民の意見を徴取し、社会福祉センターと庁舎の建設調整と住民が納得いく造成工事等を望まれた。



市民の要望をばあし、実を
聞くことが町の政治勢であり、
互恵相友、お互いに取まれお互い
に互恵あとの「コミニティ社会」
を実現させること、また町の政
治勢です。

そこで住民からの要望に互恵の
ような回答をして、住民と町との
互恵相友の「コミニティ」を
て、仕事を磨きたきたいたと思
います。

①学生、幼稚園児、保育園児等
の交通安全教室（道路交
の里と、交通安全通塾（通塾又
別乗、横断歩道、一時停止標
識、暗い場所には防犯灯）等を設
置して安全の確保を図ります。こ
れは一般通行者にもあてはまりま
す。

②「町民代議者をもちて十分な協議
と補償」
「水車」では、道路の粉じを
除き及び清濁を実施し、撒播補給の
政策化を図ります。

③壁中の騒音や粉じん、排気
スの騒音の問題については、時期的
な調査計画し、大気汚染対策は専ら
騒音との連けを随一つ、防
対策を行ないます。

また、町騒音測定網、大気観
知事がありますので、常に騒
音測定を確立して当ります。

④「朝晩限合つて」は、附近近
民の生活に影響を及ぼしますの
間にはいたしません。

⑤民からある音調、要望につきま
しては、音調、要望の処理は
すべくすべく基本姿勢
ます。

要望の実現には
最善の努力を

いま一宮町は大きな曲がり角に
きています。

高度経済の成長にもなう都市
の波は、私の町にも傳へて
きています。

一方では、中央文化の恩恵を蒙
る、立の立ちおれを待たせき
宮町の姿なのです。しかし、これ
また、一方では立おくれの修正
に、町民の環境を待たせきとい
う一つの面白日本の姿であり、二
つの特徴の姿です。

山西方面の小学生については、下校時にはマイクロボックスで送り、登校時には安全靴の履き売りまでダンファルを走らせない計画である。

(2) 労働協会の名義論議所には、弊団への配属を計画しています。(「道路行走中」ダンファルのスピード制限は、千キロ以下とし、各ダンファルは、ひとりでわかるような目印をつけてきて、運転手の自覚と監視員の強化を図ります。

造成の進捗状況について、本年度中、約四十パーセントほどの工事完了いたします。

社会福祉セタクの並面横は、約一四七平方メートルです。

センターを建設

まず社会福祉

建設

